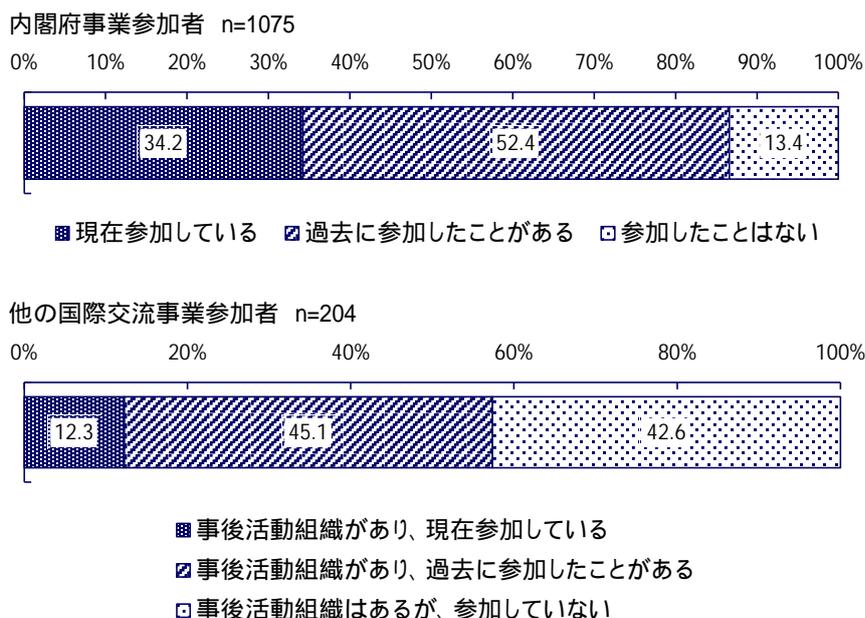


5 事業参加後の事後活動の状況

(1) 事後活動への参加状況

問 16 あなたは内閣府事業の事後活動(I Y E O 活動や事業参加をきっかけとして行っている社会活動)に参加していますか。「1. 現在参加している」と回答した場合は、活動年数(1年に満たない場合は「0」を入力してください。)及び頻度を、「2. 過去に参加したことがある」と回答した場合は活動年数(1年に満たない場合は「0」を入力してください。)をお答えください。(は1つ)

図表 5-1 事後活動への参加状況



内閣府事業参加者以外調査票では「あなたが参加した国際交流事業等には、事後的な活動組織(事業をきっかけとして行っている社会活動を含む。)がありますか。また、あなたはそれに参加したことがありますか。」「1. 事後活動組織があり、現在参加している」と回答した場合は活動年数(1年に満たない場合は「0」を入力してください。)及び頻度を、「2. 事後活動組織があり、過去に参加したことがある」と回答した場合は活動年数(1年に満たない場合は「0」を入力してください。)をお答えください。(は1つ)となり、選択肢は「事後活動組織があり、現在参加している」、「事後活動組織があり、過去に参加したことがある」、「事後活動組織はあるが、参加していない」、「事後活動組織はない」となる。また、「事後活動組織はない」は集計していない。

事後活動への参加状況を聞いたところ、内閣府事業参加者では「過去に参加したことがある」が52.4%と半数以上を占め、「現在参加している」が34.2%、「参加したことはない」が13.4%となっている。

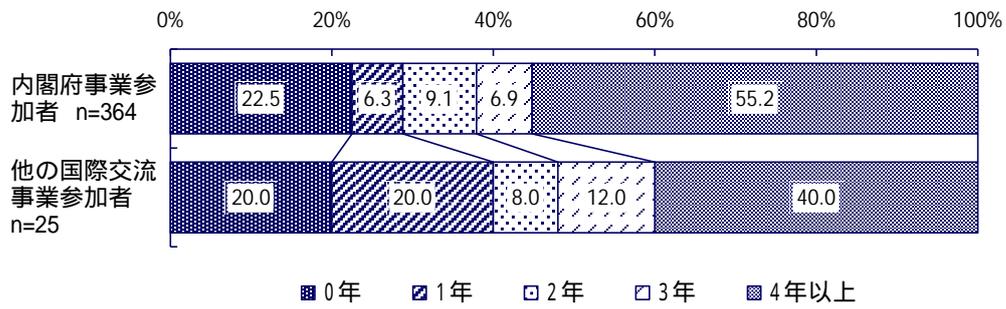
他の国際交流事業参加者では「事後活動組織があり、過去に参加したことがある」、「事後活動組織はあるが、参加したことはない」がともに4割以上で、「事後活動組織があり、現在参加している」は12.3%となっている。

< 検定結果 >

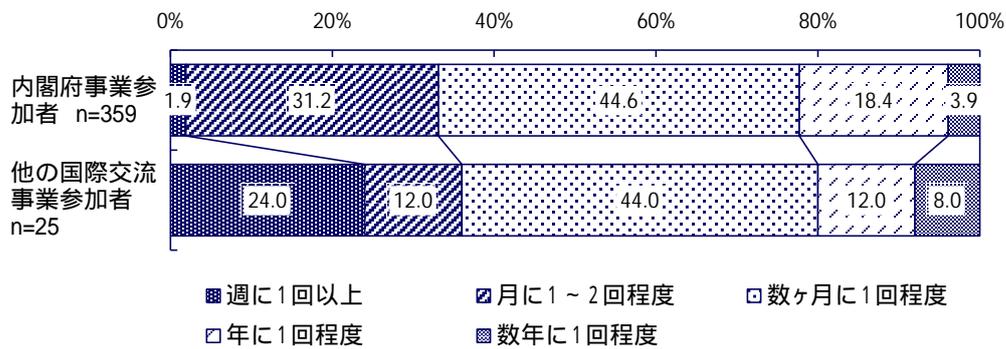
	内閣府	他の事業
図表 5-1	p < 0.01	

図表 5-2 事後活動の活動年数や頻度

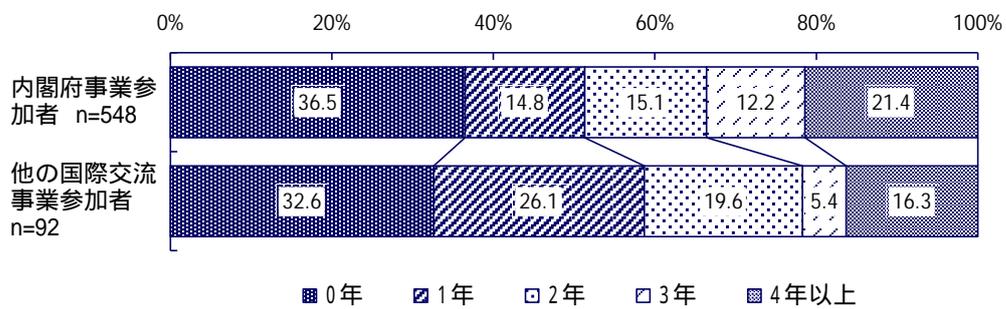
現在参加している事後活動の活動年数



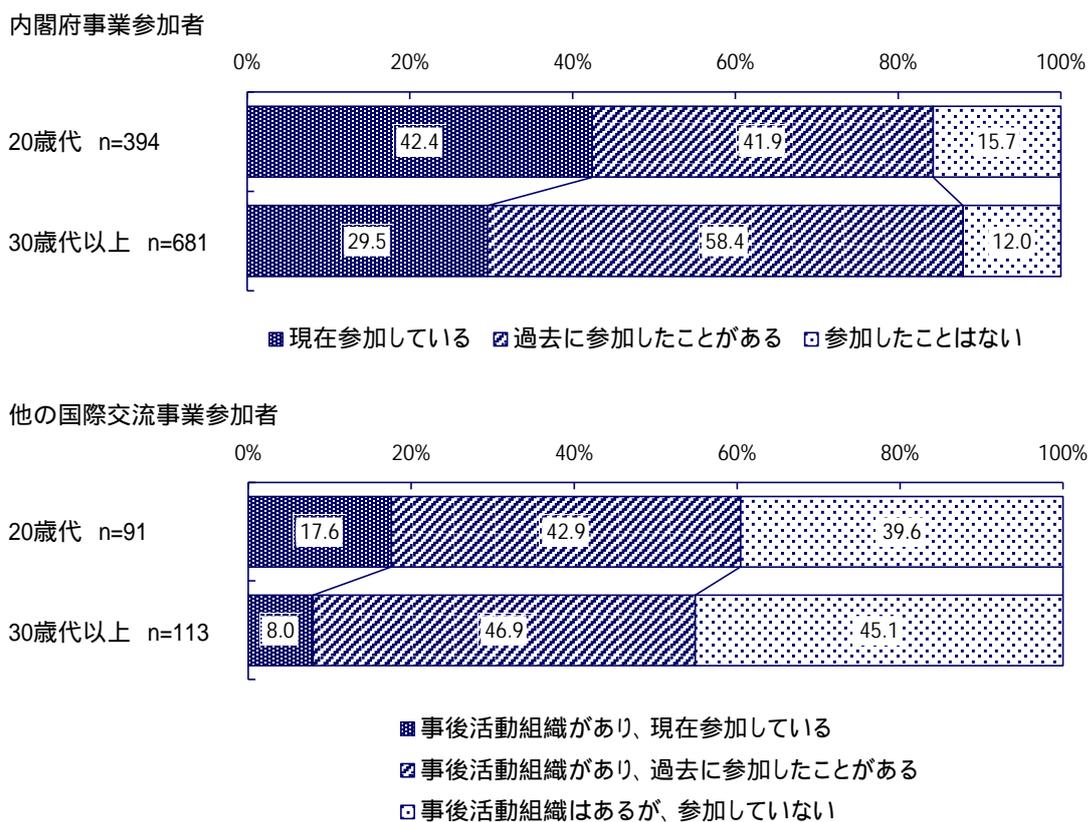
現在参加している事後活動の頻度



過去に参加したことがある事後活動の活動年数



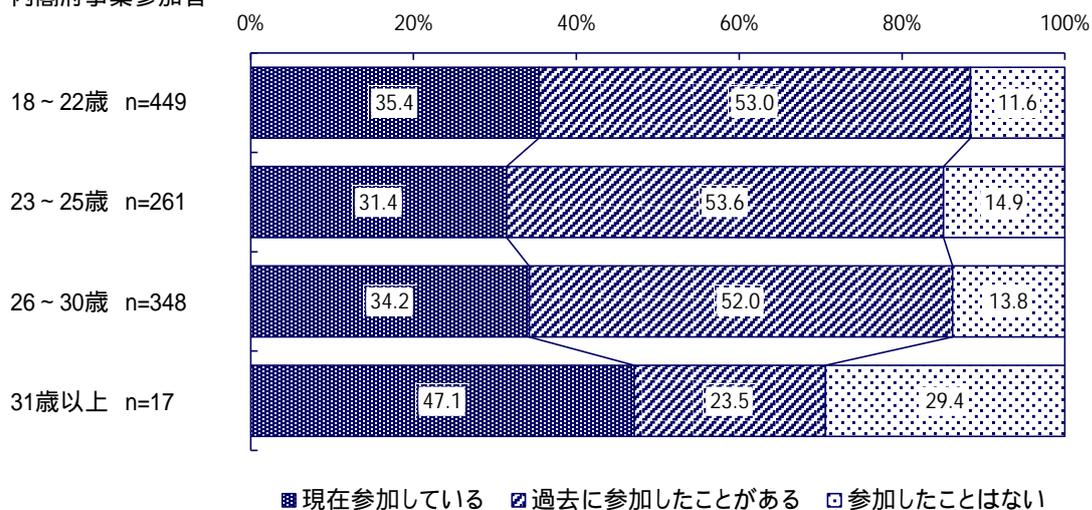
図表 5-3 事後活動への参加状況 < 年齢階級別 >



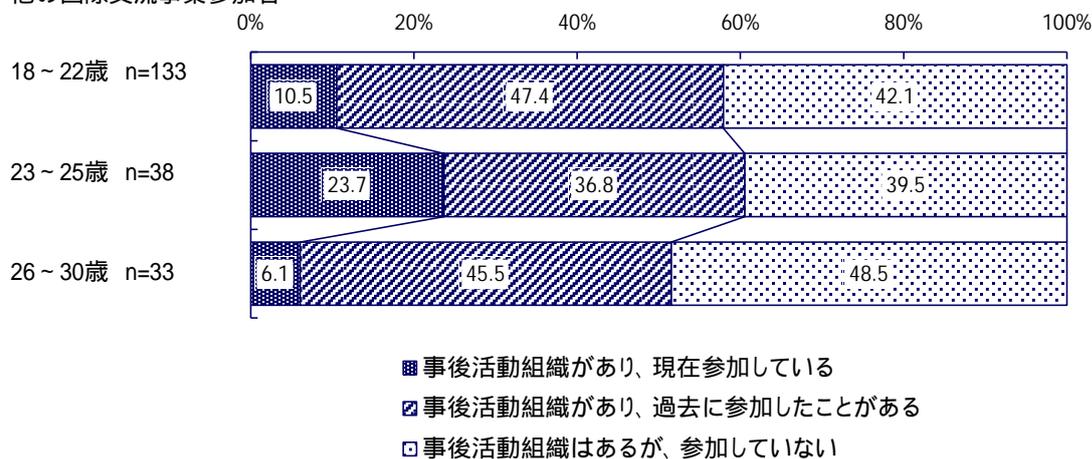
事後活動への参加状況を年齢階級別にみると、「現在参加している」は内閣府事業参加者の20歳代で42.4%、30歳代以上で29.5%、他の国際交流事業参加者の20歳代で17.6%、30歳代以上で8.0%となっている。

図表 5-4 事後活動への参加状況 <参加時の年齢別>

内閣府事業参加者

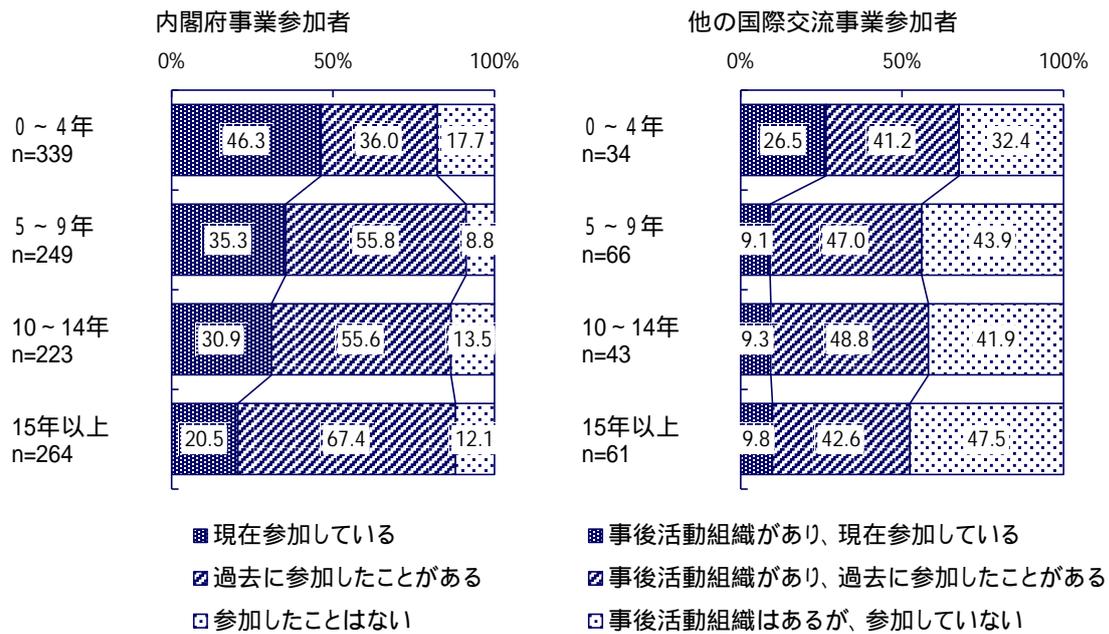


他の国際交流事業参加者



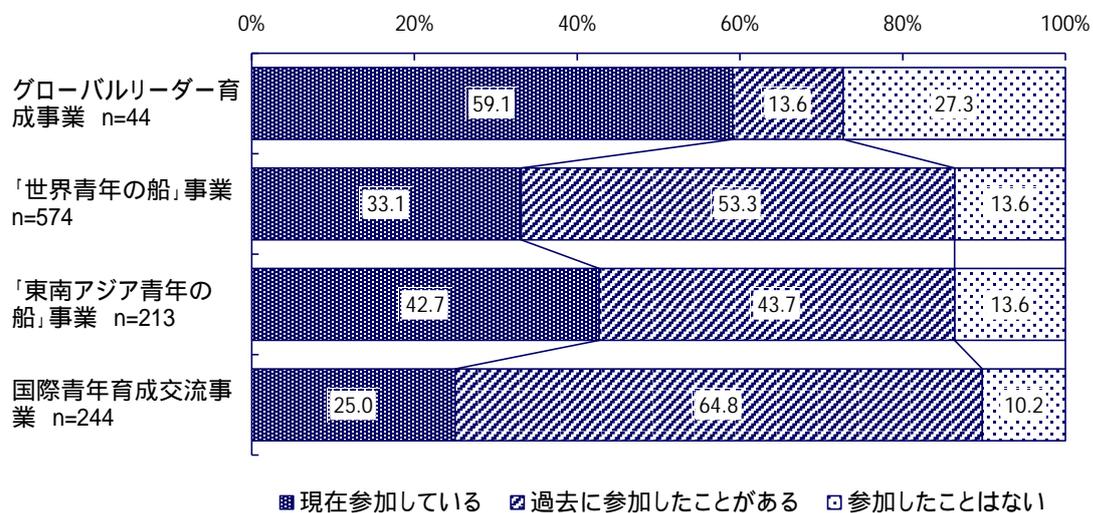
事後活動への参加状況を参加時の年齢別にみると、「現在参加している」は内閣府事業参加者ではどの年齢層でも3割以上となっている。他の国際交流事業参加者では23～25歳で23.7%となっている。

図表 5-5 事後活動への参加状況 <参加からの期間別>



事後活動への参加状況を参加からの期間別にみると、内閣府事業参加者は期間が長くなるにつれて「現在参加している」の割合が低くなっている。他の国際交流事業参加者は0～4年が26.5%で、5～9年以上は約1割となっている。

【内閣府事業参加者】 図表 5-6 事後活動への参加状況 <内閣府事業種類別>

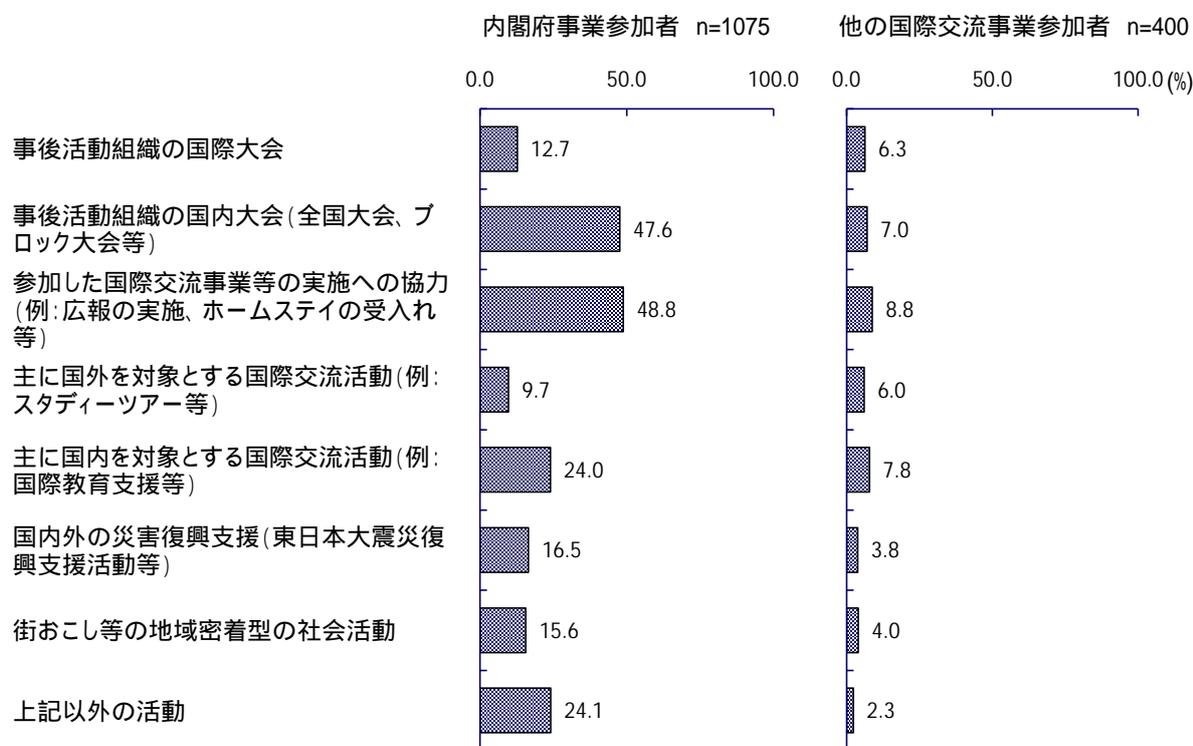


事後活動への参加状況を内閣府事業種類別にみると、「現在参加している」はグローバルリーダー育成事業で59.1%と半数を超えている。「東南アジア青年の船」事業は42.7%、「世界青年の船」事業は33.1%、国際青年育成交流事業は25.0%となっている。

(2) 事後活動に関連して企画又は参加した活動の種類

問 17 【問 16 で 1 または 2 を選んだ方のみ】内閣府事業の事後活動（I Y E O 活動や事業参加をきっかけとして行っている社会活動）に関連した下記の活動のうち、あなたが企画または参加したことのあるものをお選びください。（複数選択可）

図表 5-7 事後活動に関連して企画又は参加した活動の種類



内閣府事業参加者以外調査票では「内閣府事業の事後活動（I Y E O 活動や事業参加をきっかけとして行っている社会活動）」が「あなたが参加した国際交流事業等の事後活動（事業をきっかけとして行っている社会活動を含む。）」となっている。

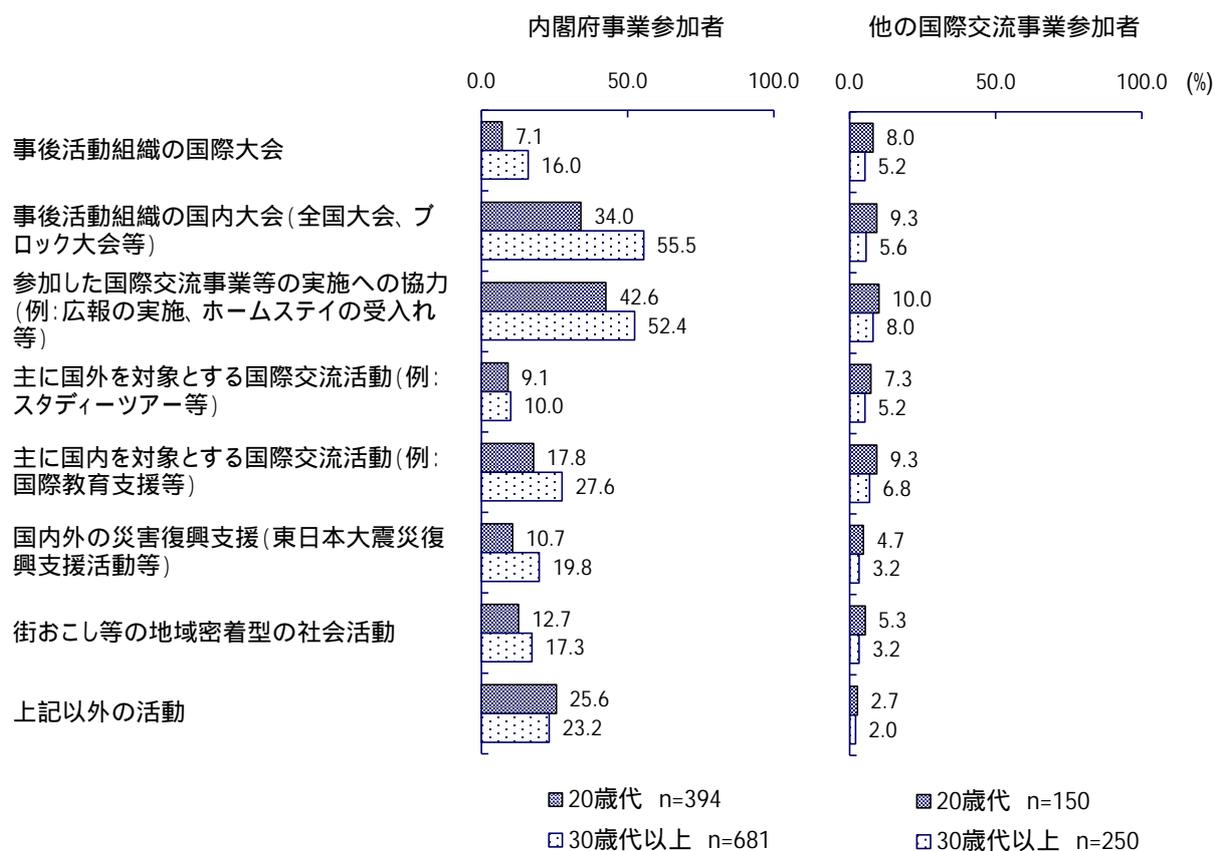
事後活動に関連した活動で企画または参加したものを聞いたところ、内閣府事業参加者では「参加した国際交流事業等の実施への協力（例：広報の実施、ホームステイの受入れ等）」が 48.8%、「事後活動組織の国内大会（全国大会、ブロック大会等）」が 47.6%となり、以下「主に国内を対象とする国際交流活動（例：国際教育支援等）」が 24.0%などとなっている。

他の国際交流事業参加者では「参加した国際交流事業等の実施への協力（例：広報の実施、ホームステイの受入れ等）」が 8.8%と最も多く、次いで「主に国内を対象とする国際交流活動（例：国際教育支援等）」が 7.8%、「事後活動組織の国内大会（全国大会、ブロック大会等）」が 7.0%となっている。

< 検定結果 >

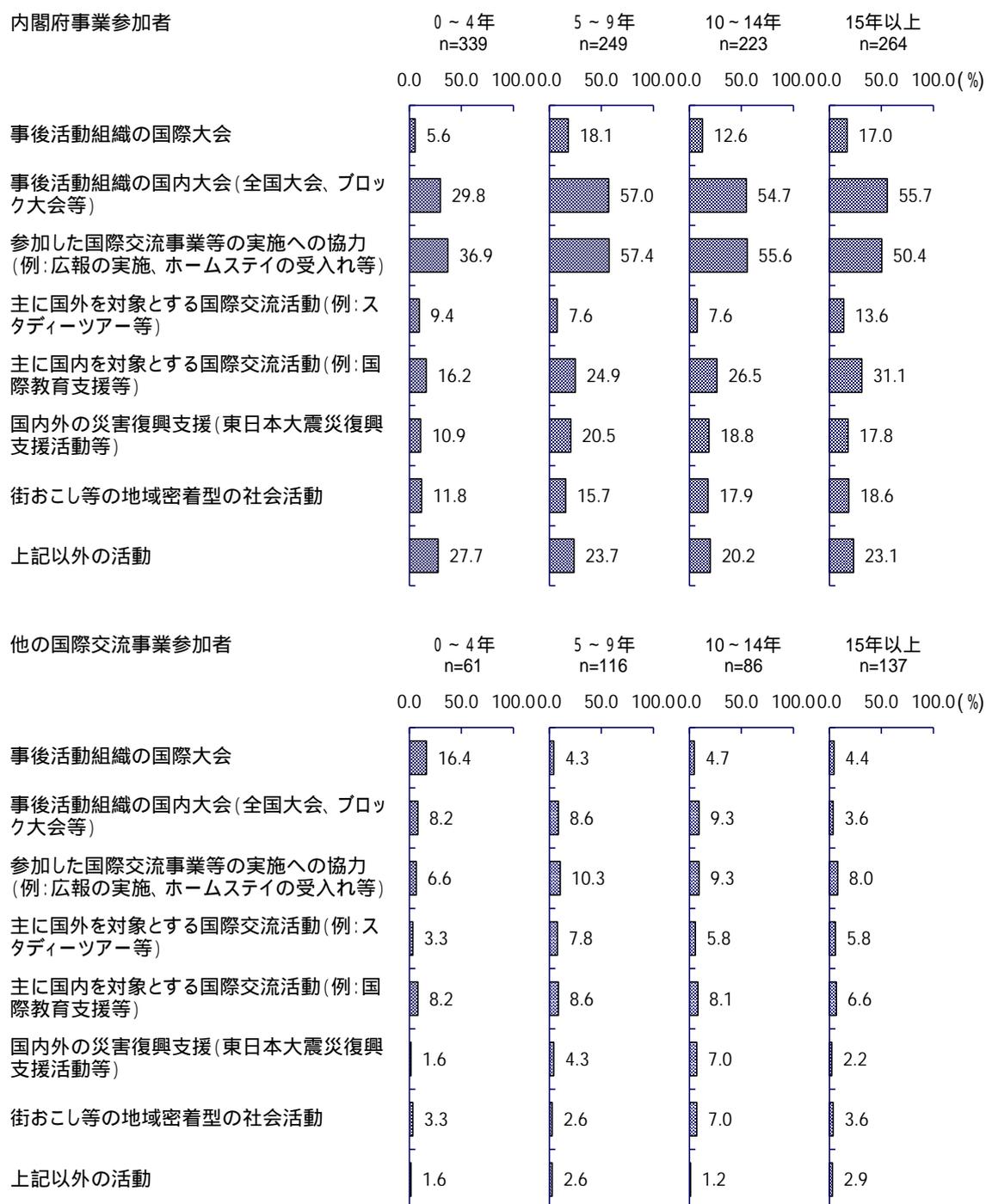
		内閣府 他の事業
図表 5-7	事後活動組織の国際大会	p < 0.01
	事後活動組織の国内大会	p < 0.01
	参加した国際交流事業等の実施への協力	p < 0.01
	主に国外を対象とする国際交流活動	p < 0.01
	主に国内を対象とする国際交流活動	p < 0.01
	国内外の災害復興支援	p < 0.01
	街おこし等の地域密着型の社会活動	p < 0.01
	上記以外の活動	p < 0.01

図表 5-8 事後活動に関連して企画又は参加した活動の種類 <年齢階級別>



事後活動に関連した活動で企画または参加したものを年齢階級別にみると、内閣府事業参加者の30歳代以上では「事後活動組織の国内大会(全国大会、ブロック大会等)」、「参加した国際交流事業等の実施への協力(例:広報の実施、ホームステイの受入れ等)」がそれぞれ55.5%、52.4%と半数を超えている。

図表 5-9 事後活動に関連して企画又は参加した活動の種類 <参加からの期間別>

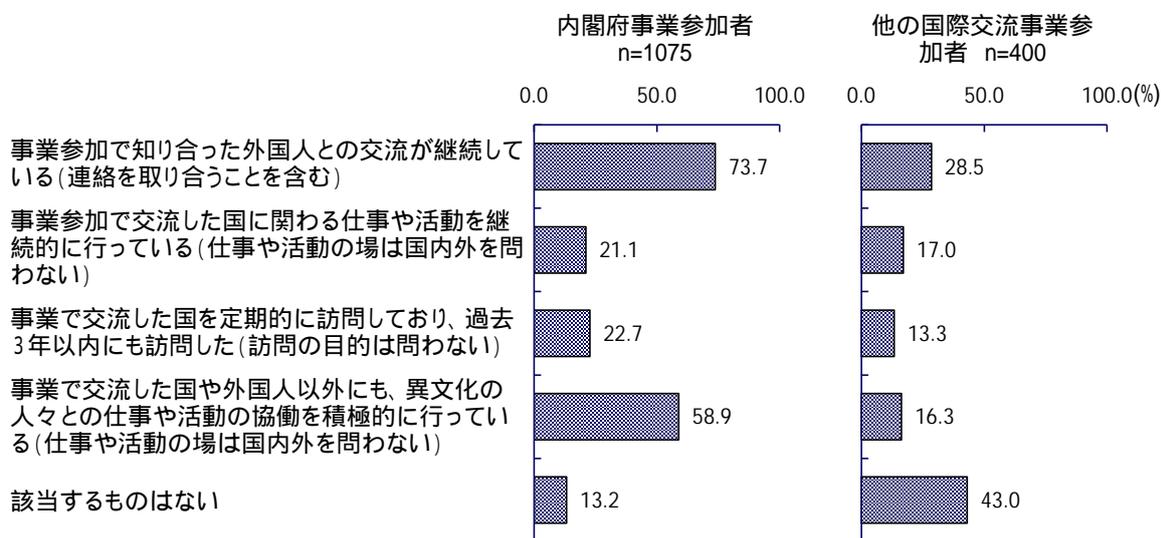


事後活動に関連した活動で企画または参加したものを参加からの期間別にみると、内閣府事業参加者の5～9年以上で「事後活動組織の国内大会(全国大会、ブロック大会等)」、「参加した国際交流事業等の実施への協力(例:広報の実施、ホームステイの受入れ等)」がそれぞれ半数以上となっている。

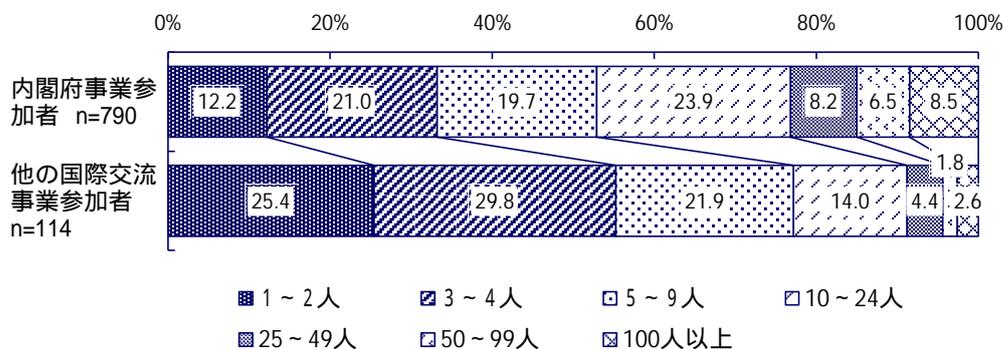
(3) 事業参加後の国際交流に関わる状況

問 18 内閣府事業に参加した後の国際交流に関わるあなたの状況として、該当するものをお選びください。(複数選択可)

図表 5-10 事業参加後の国際交流に関わる状況



交流が継続している外国人の人数



内閣府事業参加者以外調査票では「内閣府事業に参加した後の」が「国際交流事業等に参加した後の、」となっている。

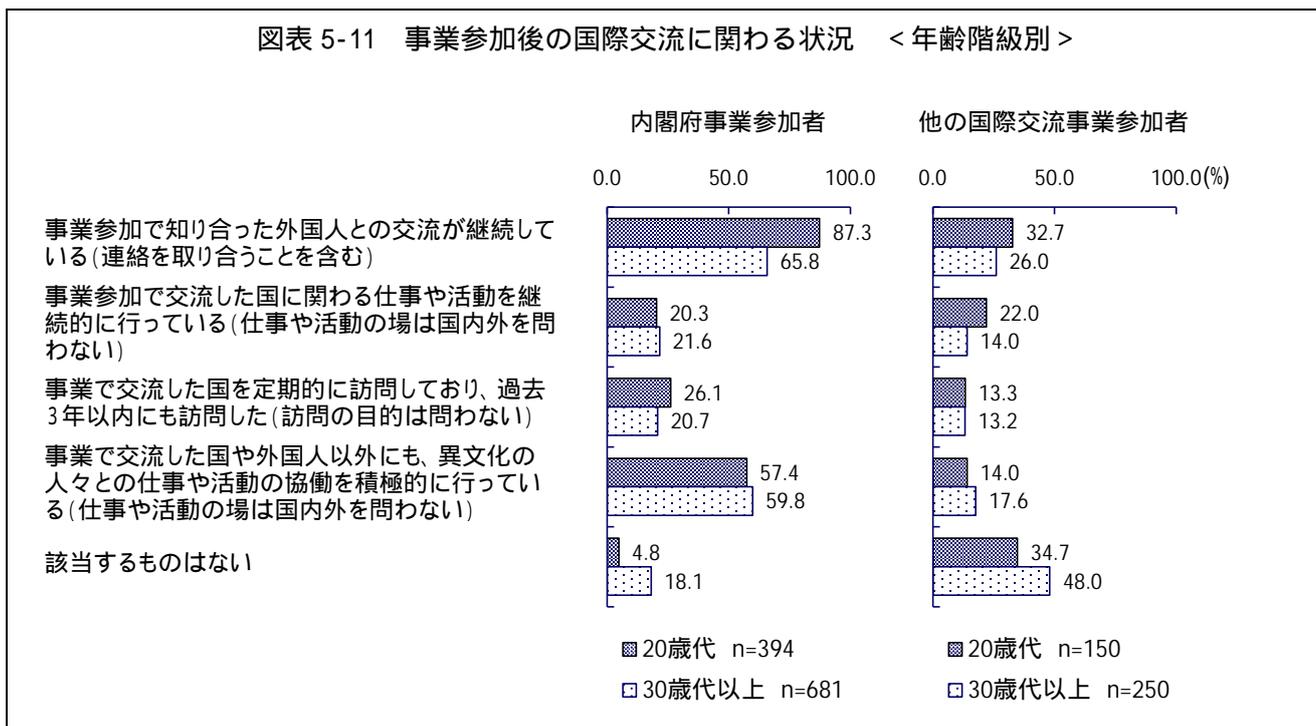
国際交流事業等に参加した後の国際交流に関わる状況は、「事業参加で知り合った外国人との交流が継続している(連絡を取り合うことを含む)」が内閣府事業参加者では73.7%となっている。これに次いで、内閣府事業参加者では「事業で交流した国や外国人以外にも、異文化の人々との仕事や活動の協働を積極的に行っている(仕事や活動の場は国内外を問わない)」が58.9%となっている。他の国際交流事業参加者では「該当するものはない」が43.0%となっている。

交流が継続している外国人の人数は、内閣府事業参加者で「10~24人」が23.9%、他の国際交流事業参加者で「3~4人」が29.8%と最も多くなっている。

< 検定結果 >

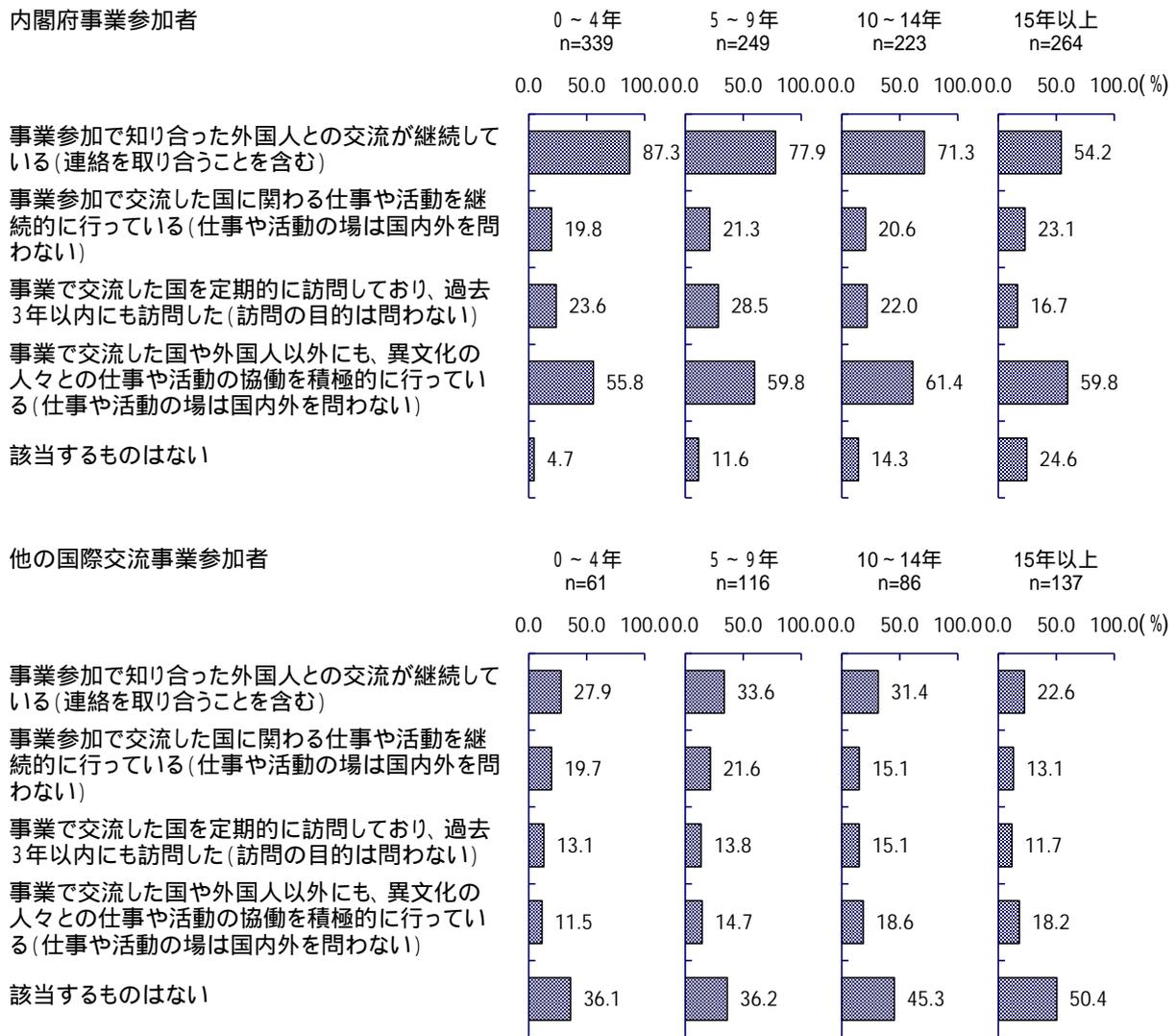
		内閣府 他の事業
図表 5-10 (上)	事業参加で知り合った外国人との～	p < 0.01
	事業参加で交流した国に関わる仕～	
	事業で交流した国を定期的に訪問～	p < 0.01
	事業で交流した国や外国人以外に～	p < 0.01
	該当するものはない	p < 0.01
図表 5-10 (下)		p < 0.01

図表 5-11 事業参加後の国際交流に関わる状況 < 年齢階級別 >



国際交流事業等に参加した後の国際交流に関わる状況を年齢階級別にみると、「事業参加で知り合った外国人との交流が継続している(連絡を取り合うことを含む)」は内閣府事業参加者の20歳代で87.3%、30歳代以上で65.8%と割合が高くなっている。他の国際交流事業参加者では20歳代が32.7%、30歳代以上が26.0%となっている。

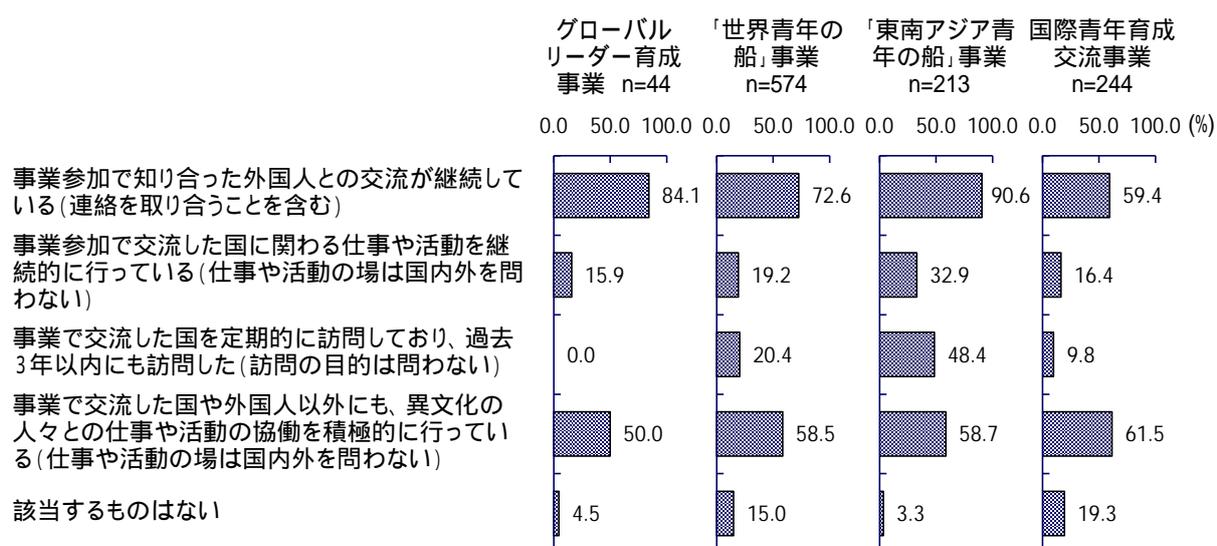
図表 5-12 事業参加後の国際交流に関わる状況 <参加からの期間別>



国際交流事業等に参加した後の国際交流に関わる状況を参加からの期間別にみると、「事業参加で知り合った外国人との交流が継続している（連絡を取り合うことを含む）」は内閣府事業参加者の0～4年で87.3%、5～9年で77.9%と参加から期間が短い人で割合が高くなっている。

一方、「事業で交流した国や外国人以外にも、異文化の人々との仕事や活動の協働を積極的に行っている（仕事や活動の場は国内外を問わない）」は5～9年以上で約6割となっている。

【内閣府事業参加者】 図表 5-13 事業参加後の国際交流に関わる状況<内閣府事業種類別>



国際交流事業等に参加した後の国際交流に関わる状況を内閣府事業種類別にみると、「事業参加で知り合った外国人との交流が継続している(連絡を取り合うことを含む)」はグローバルリーダー育成事業で84.1%、「東南アジア青年の船」事業で90.6%と割合が高くなっている。